

2019年度（4月-3月）

旅行業の倒産状況

2020年4月9日
プレスリリース

倒産概況

2019（令和1）年度 旅行業の倒産

（負債額1,000万円以上の企業倒産）

	倒産件数	負債総額
	27 件	16億8,200万円
前年度比	▲ 15.62%	▲ 26.86%
2018（平成30）年度	32 件	23億円

※TSRの倒産集計は、1952年の集計開始以来、法的倒産と私的倒産を含む

問合せ先：経済研究室
電 話：03(6910)3157

件数が2年ぶりに30件を割り込み、負債は過去20年で最少を記録

2019年度（2019年4月～2020年3月）の旅行業倒産は、件数が27件（前年度比15.6%減）で、2年ぶりに前年度を下回った。2017年度（26件）以来、2年ぶりに30件を割り込んだ。

負債総額は16億8,200万円（前年度比26.8%減）で、3年連続で前年度を下回った。過去20年間で最少だった2018年度（23億円）を下回って、最少負債総額を更新した。

これは、負債5億円以上の倒産が発生せず、同1億円以上5億円未満が半減（9→4件）し、小・零細規模の倒産を中心に推移したため。

原因別では、「販売不振」が24件で、全体の約9割（構成比88.8%）を占めた。大手企業やOTAなどとの競合の末、経営体力の乏しい小・零細企業が行き詰まり、脱落する様相が浮かび上がる。

旅行業の倒産 月次推移

（負債総額単位：百万円）

年 月	2017(平成29)年		2018(平成30)年		2019(令和1)年		2020(令和2)年	
	件数	負債総額	件数	負債総額	件数	負債総額	件数	負債総額
1月	1	20	2	55	3	209	3	260
2月	1	99	2	90	3	182	4	136
3月	5	18,824	1	141	4	166	5	422
4月	4	832	0	0	1	100		
5月	1	20	5	297	2	40		
6月	3	425	3	210	1	35		
7月	2	44	1	440	2	73		
8月	5	366	2	89	1	200		
9月	2	36	2	176	2	122		
10月	2	380	4	177	0	0		
11月	1	497	2	164	4	204		
12月	1	30	3	190	2	90		
年計	28	21,573	27	2,029	25	1,421	12	818

各種動向

原因別では、「販売不振」24件（前年度比4.0%減）が最多、全体の約9割（構成比88.8%）を占めた。

形態別では、27件のすべてを破産が占めた。

資本金別では、1千万円以上5千万円未満が15件（前年度比25.0%減）で、全体の約6割（構成比55.5%）を占めた。次いで、5百万円以上1千万円未満が5件（前年度比25.0%増）が続く。1億円以上は発生がなかった。

負債額別では、負債1千万円以上5千万円未満が13件（前年度比18.7%減）で約5割（構成比48.1%）を占めた。同5億円以上（前年度ゼロ）は発生がなかった。

従業員数別では、5人未満が20件（前年度比13.0%減）で、7割（構成比74.0%）を占めた。50人以上の倒産は発生しなかった。

地区別では、関東が12件（前年度比40.0%減）で最多。次いで、中部5件（前年度比66.6%増）、近畿3件（同25.0%減）、中国（前年度ゼロ）と九州（前年度比50.0%減）が各2件、東北と北陸、四国が各1件の順。北海道は発生がなかった。

主な倒産事例・今後の見通し

◇（株）愛トラベル（TSR企業コード:720200393、法人番号:8240001020684、広島市）は、1998年6月にバスツアーに特化した営業を開始、ピーク時の2002年5月期の売上高は約20億円を計上した。その後、売上高は約14億円で推移していたが、2010年9月に総務省が貸切バス事業者への指導・監督を強化したことで業容を縮小。2011年5月期の売上高は約9億8,300万円と10億円を割り込み、その後も低迷が続いていた。

2015年から自社保有バスの運行などで業績改善に取り組んでいたが、2019年5月期は「平成30年7月豪雨」に伴う運行停止や予約キャンセルが発生し、売上高は約5億5,000万円まで落ち込んだ。さらに、2020年に入ってから「新型コロナウイルス」感染拡大の影響によりキャンセルが相次ぎ、事業継続を断念し、3月10日、広島地裁に破産を申請した。負債総額は債権者約1,100名に対して約3億円。このうち、旅行料金を事前に支払済みの債権者は約1,000名で、負債額は約3,000万円。

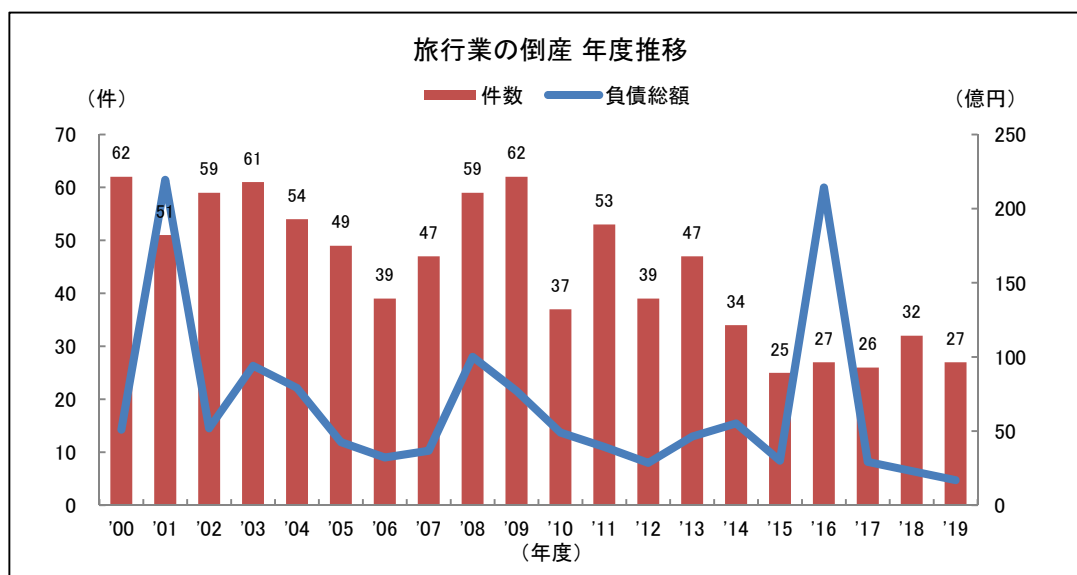
【今後の見通し】

2019年は、天皇陛下譲位に伴い10連休となった大型GWやラグビーワールドカップの開催などにより、底堅い市場環境に恵まれ、企業倒産が抑制されてきた。

しかし、2020年に入ってから発生した「新型コロナウイルス」の感染拡大が観光業界を直撃し、急激な市況悪化に見舞われている。世界各国への渡航制限が敷かれ、国内の移動も自粛要請により制限されるため、海外・国内ともに旅行需要の縮小が著しい。

従来から財務余力が乏しかった旅行業者では、経営破たんには追いやられる事態が既に発生している。「新型コロナウイルス」の終息時期を見通せないなか、市況の低迷が続いて資金繰り難に陥り、破たんに至る企業は増加の一途をたどる恐れがある。民間金融機関も巻き込んだ政策による支援が求められる。

年次推移



旅行業の倒産 年度推移

年度	件数		負債総額		平均 負債額
	(件)	前年比	(百万円)	前年比	
2000年度	62	—	5,090	—	82
2001年度	51	▲17.74%	21,944	331.11%	430
2002年度	59	15.68%	5,182	▲76.38%	87
2003年度	61	3.38%	9,401	81.41%	154
2004年度	54	▲11.47%	7,911	▲15.84%	146
2005年度	49	▲9.25%	4,255	▲46.21%	86
2006年度	39	▲20.40%	3,219	▲24.34%	82
2007年度	47	20.51%	3,675	14.16%	78
2008年度	59	25.53%	10,002	172.16%	169
2009年度	62	5.08%	7,709	▲22.92%	124
2010年度	37	▲40.32%	4,906	▲36.36%	132
2011年度	53	43.24%	3,929	▲19.91%	74
2012年度	39	▲26.41%	2,847	▲27.53%	73
2013年度	47	20.51%	4,634	62.76%	98
2014年度	34	▲27.65%	5,515	19.01%	162
2015年度	25	▲26.47%	3,001	▲45.58%	120
2016年度	27	8.00%	21,424	613.89%	793
2017年度	26	▲3.70%	2,916	▲86.38%	112
2018年度	32	23.07%	2,300	▲21.12%	71
2019年度	27	▲15.62%	1,682	▲26.86%	62

2019(令和1)年度旅行業 原因別倒産状況

主因	明細	件数				負債総額(百万円)			
		当年度	構成比	前年度比	前年度	当年度	構成比	前年度比	前年度
放漫経営	事業上の失敗	0	0.00%	▲100.00%	1	0	0.00%	▲100.00%	34
	事業外の失敗	0	0.00%	-	0	0	0.00%	-	0
	融手操作	0	0.00%	-	0	0	0.00%	-	0
	(小計)	(0)	(0.00%)	(▲100.00%)	(1)	(0)	(0.00%)	(▲100.00%)	(34)
過小資本	運転資金の欠乏	1	3.70%	-	0	39	2.31%	-	0
	金利負担の増加	0	0.00%	-	0	0	0.00%	-	0
	(小計)	(1)	(3.70%)	-	(0)	(39)	(2.31%)	-	(0)
他社倒産の余波		1	3.70%	▲66.66%	3	30	1.78%	▲89.13%	276
既往のシワ寄せ	①赤字累積	0	0.00%	▲100.00%	3	0	0.00%	▲100.00%	136
信用性低下	取引先の打切り	0	0.00%	-	0	0	0.00%	-	0
販売不振	②	24	88.88%	▲4.00%	25	1,556	92.50%	▲16.07%	1,854
売掛金等回収難	③	0	0.00%	-	0	0	0.00%	-	0
在庫状態悪化		0	0.00%	-	0	0	0.00%	-	0
設備投資過大		0	0.00%	-	0	0	0.00%	-	0
その他	偶発的原因	1	3.70%	-	0	57	3.38%	-	0
合計		27	100.00%	▲15.62%	32	1,682	100.00%	▲26.86%	2,300
不況型倒産(①+②+③)		24	88.88%	▲14.28%	28	1,556	92.50%	▲21.80%	1,990

2019(令和1)年度旅行業 地区別倒産状況

地区	件数				負債総額(百万円)			
	当年度	構成比	前年度比	前年度	当年度	構成比	前年度比	前年度
北海道	0	0.00%	-	0	0	0.00%	-	0
東北	1	3.70%	-	0	50	2.97%	-	0
関東	12	44.44%	▲40.00%	20	522	31.03%	▲56.24%	1,193
中部	5	18.51%	66.66%	3	314	18.66%	▲48.94%	615
北陸	1	3.70%	0.00%	1	50	2.97%	▲10.71%	56
近畿	3	11.11%	▲25.00%	4	189	11.23%	▲13.30%	218
中国	2	7.40%	-	0	360	21.40%	-	0
四国	1	3.70%	-	0	45	2.67%	-	0
九州	2	7.40%	▲50.00%	4	152	9.03%	▲30.27%	218
合計	27	100%	▲15.62%	32	1,682	100%	▲26.86%	2,300

2019(令和1)年度 主な「旅行業」の倒産

企業コード	商号	所在地	資本金 (千円)	負債額 (百万円)	倒産原因	倒産形態
720200393	(株)愛トラベル	広島県	55,000	300	販売不振	破産
292306911	(株)ユニベルツール	東京都	45,000	200	販売不振	破産
403029945	(株)エース	愛知県	9,990	150	販売不振	破産
872157342	(株)旅丸ジャパン	福岡県	10,000	100	販売不振	破産
292777310	(株)国際通運	東京都	61,000	80	販売不振	破産
401179540	(株)コーワ旅行センター	愛知県	46,900	80	販売不振	破産
131795775	(株)テイクインジャパン	大阪府	10,000	72	販売不振	破産
662021100	(有)華トラベル	兵庫県	9,000	60	販売不振	破産
780006496	(株)ハローツーリスト	鳥取県	35,000	60	販売不振	破産
023995513	たびどころ	大阪府	0	57	その他	破産

2019(令和1)年度旅行業 形態別倒産状況

形態	件数				負債総額(百万円)			
	当年度	構成比	前年度比	前年度	当年度	構成比	前年度比	前年度
会社更生法	0	0.00%	-	0	0	0.00%	-	0
民事再生法	0	0.00%	-	0	0	0.00%	-	0
(再建型)	(0)	(0.00%)	-	(0)	(0)	(0.00%)	-	(0)
破産	27	100.00%	▲15.62%	32	1,682	100.00%	▲26.86%	2,300
特別清算	0	0.00%	-	0	0	0.00%	-	0
(消滅型)	(27)	(100.00%)	(▲15.62%)	(32)	(1,682)	(100.00%)	(▲26.86%)	(2,300)
法的倒産	27	100.00%	▲15.62%	32	1,682	100.00%	▲26.86%	2,300
取引停止処分	0	0.00%	-	0	0	0.00%	-	0
内整理	0	0.00%	-	0	0	0.00%	-	0
私的倒産	0	0.00%	-	0	0	0.00%	-	0
合計	27	100%	▲15.62%	32	1,682	100%	▲26.86%	2,300

2019(令和1)年度旅行業 資本金別倒産状況

資本金	件数				負債総額(百万円)			
	当年度	構成比	前年度比	前年度	当年度	構成比	前年度比	前年度
1億円以上	0	0.00%	-	0	0	0.00%	-	0
5千万円以上	2	7.40%	▲33.33%	3	380	22.59%	59.66%	238
1千万円以上	15	55.55%	▲25.00%	20	901	53.56%	▲51.40%	1,854
5百万円以上	5	18.51%	25.00%	4	255	15.16%	136.11%	108
1百万円以上	4	14.81%	0.00%	4	89	5.29%	▲1.11%	90
1百万円未満	0	0.00%	▲100.00%	1	0	0.00%	▲100.00%	10
個人企業他	1	3.70%	-	0	57	3.38%	-	0
合計	27	100%	▲15.62%	32	1,682	100%	▲26.86%	2,300

2019(令和1)年度旅行業 負債額別倒産状況

負債額	件数				負債総額(百万円)			
	当年度	構成比	前年度比	前年度	当年度	構成比	前年度比	前年度
10億円以上	0	0.00%	-	0	0	0.00%	-	0
5億円以上	0	0.00%	-	0	0	0.00%	-	0
1億円以上	4	14.81%	▲55.55%	9	750	44.58%	▲48.91%	1,468
5千万円以上	10	37.03%	42.85%	7	611	36.32%	32.82%	460
1千万円以上	13	48.14%	▲18.75%	16	321	19.08%	▲13.70%	372
合計	27	100%	▲15.62%	32	1,682	100%	▲26.86%	2,300

2019(令和1)年度旅行業 従業員数別倒産状況

従業員数	件数				負債総額(百万円)			
	当年度	構成比	前年度比	前年度	当年度	構成比	前年度比	前年度
300人以上	0	0.00%	-	0	0	0.00%	-	0
50～299人	0	0.00%	-	0	0	0.00%	-	0
20～49人	1	3.70%	0.00%	1	300	17.83%	▲31.81%	440
10～19人	1	3.70%	0.00%	1	80	4.75%	▲27.27%	110
5～9人	5	18.51%	▲28.57%	7	470	27.94%	1.95%	461
～4人	20	74.07%	▲13.04%	23	832	49.46%	▲35.45%	1,289
合計	27	100%	▲15.62%	32	1,682	100%	▲26.86%	2,300

倒産概況

2020（令和2）年3月度 旅行業の倒産

（負債額1,000万円以上の企業倒産）

	倒産件数	負債総額
	5 件	4億2,200万円
前年同月比	+ 25.00%	+ 154.21%
2019年3月	4 件	1億6,600万円
前月比	+ 25.00%	+ 210.29%
2020年2月	4 件	1億3,600万円

※TSRの倒産集計は、1952年の集計開始以来、法的倒産と私的倒産を含む

問合先：経済研究室
電 話：03(6910)3157

件数は2カ月連続で増加、負債は2カ月ぶりに増加

2020年3月の旅行業倒産は、3月度としては2017年以来、3年ぶりに5件（前年同月比25.0%増）で、2カ月連続で前年同月を上回った。

負債総額は4億2,200万円（同154.2%増）で、2カ月ぶりに前年同月を上回った。前年同月は負債1億円以上の発生がなく、平均負債額が倍増（4,100万円→8,400万円）した。

原因別では、全て「販売不振」。

形態別では、全てが破産だった。

地区別では、関東2件、北陸と中国、九州が各1件。

